

2021年度 キャリア戦略【報告】

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由 /課題/根拠データ等	
1. ■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善	<外国語学部> ①キャリア教育改善におけるキャリア4科目実施 ②後期11/27・12/4模擬面接会3学年全員実施:目標参加率90% ③自己開拓型インターンシップの実践 ④実就職率外国語学部平均90% 実就職率改善に向け、従来の就職状況表で「アルバイト、その他」に区分していた学生の動きをより具体的に掌握するため、「アルバイトなど」「就職活動状況つかめず」に分けることにより、目標の達成状況を緻密に管理する。	2021年度 最終確定学部 内定率 =99.0% 同 実就職率 =80.6%	<外国語学部> 2022年3月31日時点就職内定率91.1%(対目標数値93%)。実就職率は78.7%である。		<外国語学部> キャリアセンターから連絡が取れない4年生には、架電・メール・チームスチャット・ファクス・文書郵送・ゼミの先生方を通じて、状況把握と個別支援を行っている。
	<経営学部> 実就職率改善に向け、従来の就職状況表で「アルバイト、その他」に区分していた学生の動きをより具体的に掌握するため、「アルバイトなど」「就職活動状況つかめず」に分けることにより、目標の達成状況を緻密に管理する。	2021年度 最終確定学部 内定率 =97.6% 同 実就職率 =85.6%	<経営学部> 2022年3月31日時点の内定率は92.2%(対目標数値%)、実就職率は84.5%である。		<経営学部> キャリアセンター職員からの連絡に対して返信がない学生については、進路状況確認葉書郵送、teams/メール/携帯電話等で連絡し、ゼミ入室者については、先生方との情報共有を図っている。
	<人間学部> オンライン環境を利用し、本郷での就職支援施策とも相互乗り入れすることで、より多くの就活の機会を提供し応募枠の拡充を図る。また、Teamsの通信環境も駆使し、学生へより細かで頻度の高いサポートを推進する。	2021年度 最終確定学部 内定率 =98.4% 同 実就職率 =85.7%	<人間学部> インターンシップや会社説明会もWeb形式での開催が多く、また、Teams-Videoを使っての就活相談、履歴書添削や面接の練習も、コロナ禍前より格段と使い易くなったことで、学生とのコミュニケーションが質量ともに向上することが可能となった。		<人間学部> 学生とのコミュニケーションは、左記の通り従前比では連絡も取れてはいるが、専門職を除いての一般企業への就職希望者の出だしと遅れが、例年通り懸念事項が残るが、歴年年内までの内定獲得を目標に、ハローワークの支援など多様なサポートで支援していき、目標にアプローチしていくこととする。
	<保健医療技術学部> 本年度は、夏季の学内合同就職説明会をオンラインで開催し、効率的で質疑応答の機会も向上するデジタルの通信環境下で、質の高いコンテンツを提供することで、学部の年度目標である「より成長できる就職先探しをサポートする」ことに対応し、学生の満足度の高い就職を支援する。	2021年度 最終確定学部 内定率 =98.3% 同 実就職率 =94.6%	<保健医療技術学部> 今年のPTOT学内合同就職説明会は、コロナ禍の影響もあり、今回初めてRealtime-Webによる形式で開催。遠隔とデジタルの効果も活かし、参加学生からも満足度が高い評価であった。9月に入って就活支援を始めた学生に広聴すると、この合説で医療機関の情報を得て、担当者とも質疑応答が出来て、そこから就活をスタートさせるきっかけとなったと話を聞くことが出来た。		<保健医療技術学部> 看護学科はほぼ前年並みの内定獲得で、期末までには目標値達成の見込み。臨床検査学科は対前年比でやや早い進捗なるも、例年、国試明けに就活を再開する学生が多く、年明け2,3月の年度末までの追い込みと詰めが肝要。理学・作業療法学科は対前年比でやや遅い進捗なるも、秋の就活のタネまきの佳境から、内定獲得の収穫期が垂直に立ち上がっているのので、結果としては例年並みの状況で着地するものと考えている。

2022年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)
1. ■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上	<外国語学部> ・就職率、実就職率向上策として、4年生対象のWeeklyオンライン学内企業説明会開催時期を8月まで拡張し招聘企業を増やす。 ・2020年度後期に実施した全員面談で構築したゼミ担当職員と学生のパイプをWeeklyオンライン学内企業説明会、個別面談への誘導に活用する。 ・対面授業が増加するので学内掲示を充実させ、ゼミ担当の先生方にキャリアイベントのご紹介を引き続きお願いする。	5月末現在 学部 内定率 =24.7% 同 実就職率 =24.1%
	<経営学部> ・就職率、実就職率向上策として、4年生対象のWeeklyオンライン学内企業説明会開催時期を8月まで拡張し招聘企業を増やす。 ・2020年度後期に実施した全員面談で構築したゼミ担当職員と学生のパイプをWeeklyオンライン学内企業説明会、個別面談への誘導に活用する。 ・対面授業が増加するので学内掲示を充実させ、ゼミ担当の先生方にキャリアイベントのご紹介を引き続きお願いする。	5月末現在 学部 内定率 =26.2% 同 実就職率 =25.7%
	<人間学部> 前年度の実績を超えるよう、近年整備されてきたオンラインでのサポートに加え、コロナ後を見据えて、可能な限り従来型の対面によるサポートを取り入れる。教職協働しながら、個別面談、各イベント、授業でのイベント告知などを積極的に起こない、学生のキャリア意識の向上を図る。	5月末現在 学部 内定率 =12.7% 同 実就職率 =12.4%
	<保健医療技術学部> オンラインによる就職説明会を開催し、学生と求人サイドとの質疑応答の機会を提供し、学生と求人サイドをつなぐ機会を提供するとともに教員・職員によるサポートにより「より成長できる就職先探しをサポートする」と学生の満足度の高い就職を支援する。	5月末現在 学部 内定率 =36.9% 同 実就職率 =同率 看護学科 のみの 就活結果

2021年度 キャリア戦略【報告】

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由 /課題/根拠 データ等	
2. ■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定向上 ①上場企業・関連企業50%以上 (キャリア戦略会議目標数値)	<外国語学部> ①達成に向け以下の施策を実施する。 ・筆記試験得点力向上のため、公務員試験対策講座を上場企業・関連企業希望者にも開放する。 ・OBOG就職相談会等のキャリアイベントに招聘する企業の上場企業・関連企業率を高める。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =27.7%	<外国語学部> 2022年3月31日時点の① 上場企業・関連企業内定率 は28.1%である。(対目標数 値56.2%)。		<外国語学部> 今後も個別面談等を通じて、採用を継続 している①企業の求人を紹介していく。
	<経営学部> ①達成に向け以下の施策を実施する。 ・筆記試験得点力向上のため、公務員試験対策講座を上場企業・関連企業希望者にも開放する。 ・OBOG就職相談会等のキャリアイベントに招聘する企業の上場企業・関連企業率を高める。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =36.6%	<経営学部> 2022年3月31日時点の① 上場企業・関連企業内定率 は36.8%である。(対目標 数値73.6%)。		<経営学部> 今後も個別面談等を通じて、採用を継続 している①企業の求人を紹介していく。
	<人間学部> 前年度の学部の上場・上場関連企業 への就職は30%の実績となったこと から、ここからさらに向上させる目標 設定を掲げる。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =35.6% >目標値 の35.0% を上回る 実績値 でした	<人間学部> コロナ禍が上下する中では あるが、ここからさらに向上 させる目的で、春先から早期 に学生へ細かい取り組みを 開始し、1)ゼミの先生との連 携により、優良企業へ学生の 目を向けさせるバックアップ で、二重の目標向上を図る。 また3年生向けには、2)キャ リア実践講座においても、そ の旨の意識向上の土壌を醸 成支援いただく。		<人間学部> 9月末段階で、上場・上場関連企業への 内定率が31%超えまでアプローチしてお り、後期でさらにこの数字を目標値に近づ けられるよう、しっかりとサポートとフォ ローアップをしていくこととする。
	<保健医療技術学部> 上記1.同様に、学部の年度目標であ る「より成長できる就職先探しをサ ポートする」ことに対応し、学生の満足 度の高い就職を支援する。	医療機関 ゆえ 該当なし	<保健医療技術学部> 過去9年間の就職先実績も 学生に公開し、病院実習など を経て、本人が希望する職 種や標榜科に合わせて、教 員と職員とで志望先の選定 を可視化できるようになっ た。		<保健医療技術学部> 昨年度の内定進捗と比して、若干遅延気 味の状況ではあるが、今年は逆にじっくり と自分が将来やりたい業務内容を捉えて 固めるため、事前の医療機関見学や説明 会への参加率はかなり高めで推移してい ることから、応募先への志望動機もブレが なく、就職後の学生の満足度は向上する ものと考えている。

2022年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)
2. ■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定向上 ①上場企業・関連企業50%以上 (キャリア戦略会議目標数値)	<外国語学部> ①達成に向け以下の施策を実施する。 ・筆記試験得点力向上のため、引き続 き公務員試験対策講座を上場企業・関 連企業希望者にも開放する。 ・OBOG就職相談会等のキャリアイベ ントに招聘する企業の上場企業・関連 企業率を高める。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =25.8%
	<経営学部> ①達成に向け以下の施策を実施する。 ・筆記試験得点力向上のため、引き続 き公務員試験対策講座を上場企業・関 連企業希望者にも開放する。 ・OBOG就職相談会等のキャリアイベ ントに招聘する企業の上場企業・関連 企業率を高める。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =25.0%
	<人間学部> 前年度は最終的に上場・上場関連企 業への就職率が30%を下回ったた め、今年度はこの水準以上を目下の目 標として目指す。	上場・ 上場関連 企業への 内定率 =26.8%
	<保健医療技術学部> 「より成長できる就職先探しをサポート する」ことで学生の満足度の高い就職 を支援するとともに就職率 100%の達 成を目指す。	医療機関 ゆえ 該当なし

2021年度 キャリア戦略【報告】

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由 /課題/根拠 データ等	
3. ■一般企業就職希望者就職内定率 期的向上 10月1日内定率80%以上(前年実績65.3%)	<外国語学部> 10月1日内定率80%以上達成に向け、新たに4年生対象とした「weeklyオンライン企業説明会」を前期に週1～2回のペースで実施し、内定獲得につなげる。	「weeklyオンライン企業説明会」を3月から実施した。	<外国語学部> 2022年3月31日時点の内定率は91.1%である。実就職率78.7%である。		<外国語学部> 4年生については内定率80%以上を達成できなかった。3年生については、次年度の達成に向け、10月から進路調書提出者全員との個別面談を実施している。
	<経営学部> 10月1日内定率80%以上達成に向け、新たに4年生対象とした「weeklyオンライン企業説明会」を前期に週1～2回のペースで実施し、内定獲得につなげる。	「weeklyオンライン企業説明会」を3月から実施し、内定獲得者を輩出した。	<経営学部> 2022年3月31日時点の内定率は92.2%、実就職率は84.5%である。		<経営学部> 4年生については内定率80%以上を達成できなかった。3年生については、次年度の達成に向け、10月から進路調書提出者全員との個別面談を実施している。
	<人間学部> 昨年度はコロナ禍で就活時期が分断されたが、本年度は夏休み前での内定獲得を前倒しするため、学外の就活機会の情報提供も強化し、学生の応募から受験活動を早期に促すことで、内定時期の向上を図る。	<本郷キャンパス> 「weeklyオンライン企業説明会」を3月から実施した。	<人間学部> 今年も、対コロナ緊急事態宣言の発出が度々繰り返される不安定な環境の下、来校で対面でのサポートが困難な状況下でも、Teamsを使って学生とのコミュニケーションの向上を図り、早い段階での内定獲得をしっかりとサポートしていくこととする。		<人間学部> 学科によって就活時期が異なることから、児童発達と人間福祉は晩秋後半からの立ち上げとなる。一般企業への就職希望者の内定率も、学科によって多少の温度差はあるものの、対前年比では上回る進捗となつてはいるが、目標値からはやや遠い進捗状況であるので、秋からの内定獲得に向けてしっかりと学生のサポートに取り組んで行くこととする。
	<保健医療技術学部> 看護学科を除く医療従事者の就活は夏休み以降に始まることから、年内・国試前の内定進捗率を例年通り80%の達成を目指すサポートを行う。		<保健医療技術学部> 看護学科は春先、その他の学科は夏休み以降の就活時期であり、本年度もそのシーズンに合わせて、学生の就活をサポートしていくこととする。		<保健医療技術学部> 看護学科はほぼ前年並みの内定獲得、臨床検査学科は対前年比でやや早い進捗、理学・作業療法学科は対前年比でやや遅い進捗なるも、秋の就活佳境期を迎え、就活のタネまきのピークから、内定獲得の収穫期が垂直に立ち上がっているため、結果としては例年並みの状況で着地するものと考えている。

2022年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)
3. ■一般企業就職希望者就職内定率 期的向上 10月1日内定率80%以上(前年実績56.6%)	<外国語学部> ・10月1日就職率向上策として、4年生対象のWeeklyオンライン学内企業説明会開催時期を8月まで拡張し招聘企業を増やす。 ・2020年度後期に実施した全員面談で構築したゼミ担当職員と学生のパイプをWeeklyオンライン学内企業説明会、個別面談への誘導に活用する。 ・対面授業が増加するので学内掲示を充実させ、ゼミ担当の先生方にキャリアイベントのご紹介を引き続きお願いする。	・Weeklyオンライン学内企業説明会を3月から実施した。 ・ゼミ担当職員が個別面談を実施している。
	<経営学部> ・10月1日就職率向上策として、4年生対象のWeeklyオンライン学内企業説明会開催時期を8月まで拡張し招聘企業を増やす。 ・2020年度後期に実施した全員面談で構築したゼミ担当職員と学生のパイプをWeeklyオンライン学内企業説明会、個別面談への誘導に活用する。 ・対面授業が増加するので学内掲示を充実させ、ゼミ担当の先生方にキャリアイベントのご紹介を引き続きお願いする。	・Weeklyオンライン学内企業説明会を3月から実施し、内定者も出ている。 ・ゼミ担当職員が個別面談を実施している。
	<人間学部> 前年度一般企業就職希望者における10月1日内定率の実績は50%未満であったため、今年度は60%以上を目下の目標として目指す。	<本郷キャンパス> ・Weeklyオンライン学内企業説明会を3月から実施した。 ・ゼミ担当職員が個別面談を実施している。
	<保健医療技術学部> 看護学科、4月から就職試験が始まるので前年度の3月に就職ガイダンスを来ない就職指導を進めていく。 臨床検査学科 夏休み前に就職ガイダンスを行い、就職指導を進める。 理学療法学科、作業療法法学科は7月末まで臨床実習のため、その後、就職ガイダンス、PTOT合同のWeb上の就職説明会を行い、その後、就職指導を進めていく。 学部全体で就職率100%を目標とする。	

2021年度 キャリア戦略【報告】

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。 実施状況(実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。 評価 評価の理由/課題/根拠データ等	A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
4. ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応 ①外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画・実施 【人間学部】 ・3年生向けイベントへの誘致、低学年向け対策講座の実施、プログラムの見直しを行い、ブラッシュアップを図る ・キャリアサブゼミの検討、学生相談室との情報の共有化の検討、ただし、来談内容の秘密保持との整合性の検討 【保健医療技術学部】 ・キャリアセンターで病院・施設見学の見学のしかた、履歴書の書き方、面接の受け方を指導する。 ②目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」実施 手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒヤリング」実施 内容: I 企業等が学生に求める能力 II 採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中 ③目的:同上 目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中	<外国語学部> ①11月27日、12月4日に「キャリアデザインⅡ」履修者対象に冬季模擬面接会を実施する。 ②企業・病院・施設からのヒヤリングに取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成した。 ①11月27日に「キャリアデザインⅡ」履修者対象に冬季模擬面接会を実施し、13社が参加した。 ②榊星野リゾート、榊カナデンからヒヤリングを実施し、10月度キャリア戦略会議で報告した。 ③10月度キャリア戦略会議で報告した。	<外国語学部> 昨年度前期同様に、個別面談は対面とオンラインを併用し、キャリア支援イベントは主にオンラインで実施した。 2022年3月31日時点内定率は91.1%で前年対比プラス8.7ポイントである。 ①外国語学部冬季模擬面接会を11月27日実施し13社、70名が参加した。 ②③キャリア戦略会議、キャリア委員会で報告した。	<外国語学部> キャリアセンターから連絡が取れない4年生には架電・メール・チームスチャット・ファクス・文書郵送・ゼミの先生方を通じて、状況把握と個別支援を行う。3年生対象のキャリア支援施策は、後期授業実施方針に沿い、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら実施していく。 ②③キャリア戦略会議、キャリア委員会で検討する。
	<経営学部> ②企業・病院・施設からのヒヤリングに取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成した。 ②日本管材センターからヒヤリングを実施し、10月度キャリア戦略会議で報告した。 ③10月度キャリア戦略会議で報告した。	<経営学部> 昨年度前期同様に、個別面談は対面とオンラインを併用し、キャリア支援イベントは主にオンラインで実施した。 2022年3月31日時点内定率は92.2%で前年対比プラス4.8ポイントである。 ②③キャリア戦略会議、キャリア委員会で報告する。	<経営学部> キャリアセンターから連絡が取れない4年生には架電・メール・チームスチャット・ファクス・文書郵送・ゼミの先生方を通じて、状況把握と個別支援を行う。3年生対象のキャリア支援施策は、後期授業実施方針に沿い、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら実施していく。 ②③キャリア戦略会議、キャリア委員会で検討する。
	<人間学部> ②企業・病院・施設からのヒヤリングに取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成した。 コロナ禍による感染防止の観点からWebによるジョブフェアなどを適宜開催 Teamsによる学生相談や支	<人間学部> 7月にあだちの里7月に、同施設職員との間でキャリアについての双方での質疑応答、情報交換と打合せを行った。ふじみ野キャリアセンター職員同席。 同議事録は、キャリア戦略会議に提出済み。	<人間学部> ともに、左記の調査・検証の結果を受けて、教職員間で連携の上で、その内容を学生への指導・サポートに活かしていくこととする。

2022年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)
4. ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応 ①外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画'実施 【人間学部】 ・3年生向けイベントへの誘致、低学年向け対策講座の実施、プログラムの見直しを行い、ブラッシュアップを図る ・キャリアサブゼミの検討、学生相談室との情報の共有化の検討、ただし、来談内容の秘密保持との整合性の検討 【保健医療技術学部】 ・キャリアセンターで病院・施設見学時の見学のしかた、履歴書の書き方、面接の受け方を指導する。 ②目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」実施 手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒアリング」実施 内容: I 企業等が学生に求める能力 II 採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中 ③目的:同上 目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中	<外国語学部> ①後期に「キャリアデザインⅡ」履修者対象に冬季模擬面接会を実施する。 ②企業・病院・施設からのヒヤリングに継続して取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成する。	外国語学部新規第模擬面接会企画実施・参加率95%以上及び受講満足度獲得
	<経営学部> ②企業・病院・施設からのヒヤリングに継続して取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成した。	
	<人間学部> ・各種キャリア支援イベントへの参加率の向上 ・低学年生および本郷キャンパス移動後の3年生におけるキャリアセンターとのつながりの構築	各学科別就職ガイダンス・試験対策講座を順次開講開始

2021年度 キャリア戦略【報告】

PLAN(計画)		DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる	
				評価	評価の理由 /課題/根拠データ等		
		<保健医療技術学部> ②企業・病院・施設からのヒヤリングに取り組んでいる。 ③各学部のキャリア委員会で、「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」に取組み、報告書を作成した。	年間を通し OBOG 相談会や 就職対策 セミナー類 の開催や 専門の ガイダンス 開催により 就活を支	<保健医療技術学部> 7月に学科の先生方も交え、TMG職員との間でキャリアについての双方での質疑応答、情報交換と打合せを行った。ふじみ野キャリアセンター職員同席。 同議事録は、キャリア戦略会議に提出済み。		<保健医療技術学部> ともに、左記の調査・検証の結果を受けて、教職員間で連携の上で、その内容を学生への指導・サポートに活かしていくこととする。	
5 ■キャリア支援の質的向上Ⅱ キャリア教育科目改善継続実施 アセスメントによる効果測定(実施)共同研究採択 就活環境変化への対応 ①外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画・実施		<外国語学部> ①キャリア教育改善におけるキャリア4科目実施⇒アセスメントテスト6回実施前年度キャリア科目履修者9月末内定率目標80%、強化群同時期内定率100% ②後期11/27・12/4模擬面接会3学年全員実施:目標参加率90% ③自己開拓型インターンシップの実践キャリアデザインAクラス:インターンシップ参加率目標:90%		<外国語学部> 前期アセスメントテスト3回実施⇒今後、集計分析実施 先行実証研究においては、前年3年次キャリアデザインA履修者は91%と全国調査を上回る内定率達成、内キャリア強化群は7月末時点で100%達成。以上、4年生キャリア科目改善を履修した学生は、全国平均を上回る結果を示した。		<外国語学部> 3年生は、後期3回アセスメントテストを実施する。第4回の結果96%の3年生が就活に対して不安を抱えている。その要素は、ES作成(69%)、面接対策(62%)であった。本科目において丁寧に対策し払拭し不安を自信に変換する。4年生の成功事例を継承し同様に改善に努める。結果、キャリア科目改善研究群において実就職率100%を達成した。	
6. ■インターンシップ質的・量的向上		<外国語学部> ①海外インターンシップ夏期・春期実施:目標参加人員15名 ②国内対面インターンシップ目標参加人員30名 ③自己開拓型インターンシップの推進(経団連内定直結型インターンシップ解禁への対応)		<外国語学部> 夏期インターンシップ大学紹介 企業数7社、履修者21人(文京区はCOVID-19影響により直前中止) また、3年次キャリアデザインAクラス履修者67名に対し自己開拓含むインターンシップ参加を必修とする。結果、3年生全体の夏季IS参加率62%(n=226)、今後の就活に期待できる数値で推移している。		<外国語学部> 3年生は、後期3回アセスメントテストを実施する。第4回の結果96%の3年生が就活に対して不安を抱えている。その要素は、ES作成(69%)、面接対策(62%)であった。本科目において丁寧に対策し払拭し不安を自信に変換する。4年生の成功事例を継承し同様に改善に努める。	
		<経営学部> 該当なし。		<経営学部> 該当なし。		<経営学部> 該当なし。	
		<人間学部>:(就職目的のインターンシップ) 本年度は、コロナ禍の影響も昨年度と比べて 緩やかな状況なので、3年生の夏季から年内のインターンシップ参加をラストとして指導。		<人間学部> 就職目的のインターンシップへの参加は、春の進路相談時に、そのメリットや情報収集の必要性を説き、夏休みからの参加を促す行動を相互で確認。		<人間学部> 就職目的のインターンシップへの参加促進について、3年生向けに4月のキャリア実践講座内で、リクナビより説明会を開催。6月からの2023卒向けの夏のインターンシップ情報公開に向け、今後の就活のスケジュール概要を習得させた。今年もコロナ禍が残る中で、Web開催の企業も多く、在宅リモートで参加できる企業も多く、学生の参加率は対前年比で向上した感はある、9月に内々定をもらってくる学生もあり。	
		<保健医療技術学部> 該当なし。		<保健医療技術学部> 該当なし。		<保健医療技術学部> 該当なし。	

2022年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)
	<保健医療技術学部> 卒業生の調査・検証結果から教職員間で連携し、学生への指導・サポートに活かしていくこととする。	5月の臨床のOBOG就職相談会以降は7,8月に開催
5. ■キャリア支援の質的向上Ⅱ ①キャリア教育科目改善継続実施 アセスメントによる効果測定 就活環境変化への対応 ②外国語学部冬季模擬面接会協働支援策計画・実施 ③キャリア科目学修効果可視化への取組	<外国語学部> 2021年度3年次キャリア科目必修化元年度の就職進捗率及び結果をクラス毎に調査し、効果検証する。 <経営学部> ①学生の就職活動への意識を早期に動機づけるために、2023年度新カリキュラムにおいて、キャリア関連科目を、1)必修化、2)低学年履修に繰り上げ、の観点で整理した。	外国語学部キャリア科目上位クラス10月1日内定率80%以上
6. ■インターンシップ質的・量的向上 ①ポストコロナにおける海外インターンシップの再開準備及び実施 ②新規ミッション型海外インターンシップの開発	<外国語学部> ①WITHコロナにおける海外インターンシップ再開を試みる ②学部魅力化を目的に、ミッション型新規海外インターンシップ開発 ③長期留学型海外インターンシップ開発 ④国内長期新規インターンシップ開発 ⑤自己開拓型インターンシップ推進 ⑥キャリア科目におけるインターンシップ準必修化 <経営学部> 該当なし <人間学部> 前年度以上のインターンシップ参加率を目指す。 <保健医療技術学部> 該当なし	①渡航型海外インターンシップ夏・春再開2本実施②自己開拓型インターンシップ対前年50%アップ